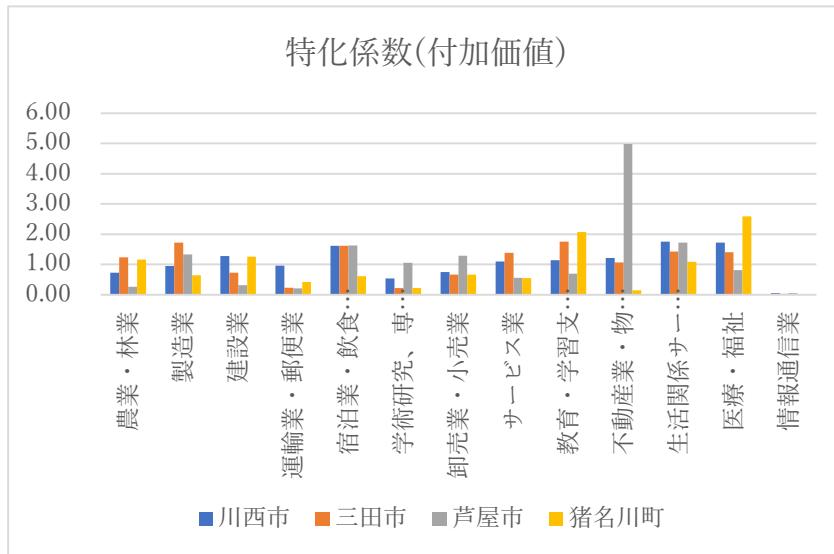


## 川西市内の経済動向分析～稼ぐ力から見る～

川西市の産業がどれだけ稼いでいる（付加価値額）、どれだけ効率的な生産を行っているか（労働生産性）を、阪神地区にある他商工会地域と比較しながら、特化係数を使って分析します。

特化係数は、全国の同産業の比率と比較したもので、1.0を超えていればその産業が全国に比べて特化している産業とされます。データは地域経済分析システム（R E S A S）2012年データを用いています。



付加価値：企業がその活動 자체から生み出し、付け加えた価値のことで、特化係数の算出は以下のとおりです。

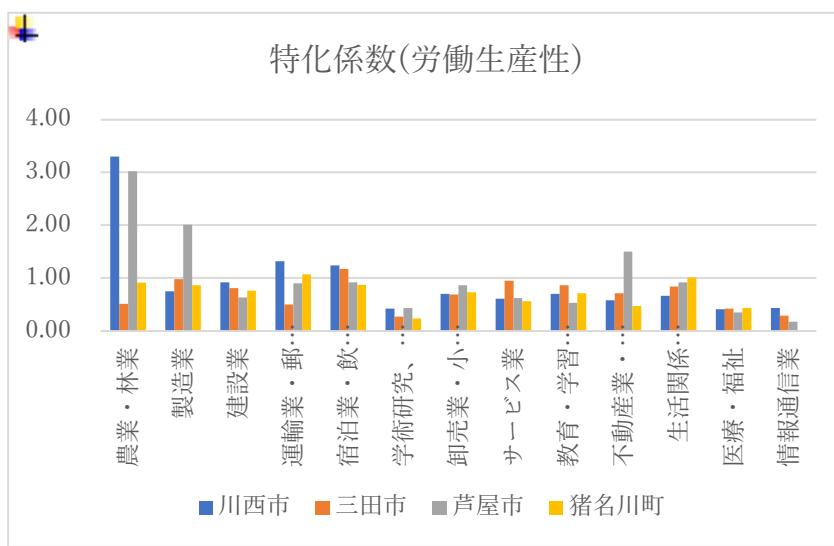
(域内における当該産業の付加価値額 ÷ 域内における全産業の付加価値額) ÷ (全国の当該産業の付加価値額 ÷ 全国の全産業の付加価値額)

付加価値額は、製造品出荷額等－原材料使用額等－（内国消費税額+推計消費税額）で計算されます。

労働生産性：従業員1人あたりの付加価値額を数値化したもので、特化係数の算出は以下のとおりです。

(域内における当該産業の労働生産性) ÷ (全国の当該産業の労働生産性)

特化係数(付加価値)から見ると、川西市は、生活関係サー



ビスや医療・福祉、建設業、宿泊・飲食業の数値が高く、住民向けの産業が発達していることが分かります。特徴的な部分として、芦屋市の不動産業・物品支援業が突出して高いのは、全国的にも魅力ある地域であることを指しています。

特化係数(労働生産性)では、農業・林業の数値が高くなっています。労働集約型産業や気候や土壌といった地域特性による高い生産性などが理由として挙げられます。また、兼業や副業も労働生産性が高い一因となることもあります。運輸業・郵便業も高く、約10年前から交通の利便性が良いことが伺え、近年では高速道路の整備されたこともあり、物流に関する事業が更に労働生産性を押し上げる可能性があると思われ、他の地域産業に良い影響を与えることが期待されます。